

- 生活支援 見守り 協議体
- 買物支援 配達 その他
- 移動支援 居場所づくり

45 「ほほえみクラブ」のお買い物ツアー（屋久島町松峯区）



地域の概要



屋久島町全体の人口は11,151人、高齢化率は38%。町は26集落に分かれており、松峯区は人口520人、高齢化率26%〔R7.12月末現在〕と、島内では最も高齢化率が低く、若い世帯や子どもが多く、育成会や婦人部の活動も積極的に行われている。



取組のきっかけ

- シニア人材育成研修で「地域活動の課題」について意見交換した際、「県道まで出るのが遠く、買い物・通院・ごみ捨てが大変」といった意見が出た。
- さらには「デイサービス送迎車を活用した買い物」を半年後に実現させようという目標設定も行い、取り組みを進めていくことになった。

取組の目的

- 買い物困難な方への支援
- 交流の場づくり

これまでの経緯

年・月	出来事
令和6年7月	シニア人材育成推進研修。地域の自慢できることや課題について協議。松峯区は今後の取り組みとして「おためしサロン体験」「デイサービス送迎車を活用した買い物」を設定した。
令和6年9月	取り組みの現状について、1層2層SCから松峯区長へ聞き取り
令和6年10月	令和6年度第1回協議体。7月のシニア人材育成講座の振り返り、現状確認、今後の取り組みについて協議。
	社協の車両を活用し、1回目のお試しお買い物ツアーを実施（無料）。1層2層SC同行。
令和6年11月	シニア人材育成フォローアップ研修開催
令和6年12月	2回目のお試しお買い物ツアー実施（ガソリン代、保険料集金）
令和7年1月	令和6年度第2回協議体。シニア人材育成フォローアップ研修の振り返り、取り組み現状確認、1年を通しての取り組みの感想等、共有。
	3回目のお買い物ツアー実施（1月以降、毎月実施）
令和7年3月	区長の事務連絡会にて、松峯の取り組み・社会福祉協議会の車両貸出事業について紹介。
令和7年4月～	社会福祉協議会で車両貸出事業が開始。松峯区はその事業を活用し本格運行。

活動の概要

【支援内容】ボランティアスタッフが主体となり、社会福祉協議会の車両貸出事業を活用し、買い物支援を実施している。

【行き先】松峯区から車で片道10～15分程先にあるスーパーやドラッグストア

【頻度】毎月1回

【利用料（ガソリン代・保険代）】200円～230円

【利用者数】2～3名

【ボランティアスタッフ】4名+運転手

【その他】買い物に行けない人に関しては、買い物代行を行っている。

【立ち上げに関わった人・団体】

生活支援コーディネーター、役場、社会福祉協議会、区長、ボランティア



取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

【行政担当者としての役割】

- SCとの情報共有
- シニア人材育成研修会の開催
- 協議体の開催
- 他集落区長への周知

【SCとしての役割】

- 協議体に向けての区長との事前打ち合わせ
- SCの通信誌にて活動紹介



現時点での到達点（効果・課題など）

【効果】

- 買い物困難な方への支援ができています。
- 目的地往復の車内は、遠足のように楽しい雰囲気でおしゃべりが尽きない。買い物だけではなく、区民同士の交流の場となっている。

【課題】

- 現時点では、運転スタッフが一名しかいない。運転スタッフを増やし、交代制で実施していきたい。
- ボランティアスタッフも高齢化していくので、後継者を探していきたい。
- 活動を周知し、参加者やボランティア・運転手を募りたいが、参加者が増えすぎた場合、現状で運営していけるか不安。